



伊豆沼のハス（写真提供：築館 RC）

2024-2025 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
基本的教育と識字率向上月間に寄せて	3
ロータリーの友月間に寄せて	4
ガバナー公式訪問報告	5
ローターアクト前期会長幹事会 開催報告	8
米山学友会総会 開催報告	8
インターアクト年次大会2024 開催報告	9
第7回全国ローターアクト委員長及び ローターアクト地区代表合同会議出席報告	9
青少年交換長期派遣生報告	10
奨学生レポート	12
行事予定表	13
新入会員紹介	14
新入会員紹介・退会会員報告・寄付報告	15
編集後記	16

GOVERNOR:
Tsuyoshi SATO

9 月信 Vol.03
2024
SEPTEMBER



基本的教育と 識字率向上月間に寄せて

国際ロータリー第2520地区
2024-2025年度 ガバナー

佐藤 剛
Tsuyoshi Sato

国際ロータリーは、9月を基本的教育と識字率向上月間に指定しています。基本的教育とはなんでしょう？ 教育基本法を以下に記します。長いですが、どうぞ目を通して下さい。

(教育の目的)

第一条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

(教育の目標)

第二条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

(生涯学習の理念)

※現行法のもとで新たに規定された。

第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわ

たって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

何と、教育の目標である教育基本法を読むと、「良きロータリアン」育成に必要な要素が全て揃っていると言っても過言では無い内容が盛り込まれています。目標ですから未だ達成されていない事は多いと思うものの、「こうありたい」と私もあらためて思った次第です。皆様は如何でしょう？

さて、識字率。日本は歴史上世界で稀有なりテラシー文化を培いました。世界のジャーナリストが幕末から明治にかけて日本を訪問し、最も驚嘆したのは市井の人が老若男女問わず「かわら版」を読んでいた事です。もちろん国民の全てが読み書き出来たとは言えないものの、江戸時代末期までには、寺子屋の普及（就学率は70～85%なる説もあります）も手伝い、70%以上は読み書き、算盤まで出来ていた様です。現在では100%近い識字率の日本ですが、義務教育を受けられなかった方の為に夜間中学等で日本語教育が行われているケースもあります。

世界に目を向ければ、教育の機会を持ってない状況下にある国がたくさんあるとも言えるでしょう。ガザやウクライナの様に、この2年でそのような状況に陥っている国や地域もあります。ロータリー財団への寄付は、貧困、紛争、戦争の原因の一つとなっている教育の欠如を是正することにも大いに寄与しています。是非、教育と識字率向上を念頭に置きながら、その願いを込めて財団に寄付して頂く事も御検討下さい。



基本的教育と 識字率向上月間に寄せて

ロータリー財団グローバル補助金奨学金奨学生

渡 邊 英 理 奈

基本的教育と識字率の向上は命を救う活動だということをご存知でしょうか？ 私は国際ロータリーのグローバル補助金のご支援を受け、コロンビア大学国際公共政策大学院で経済・政治開発を専攻し、特にジェンダーについて専門的に勉強させていただきました。そこで学んだことの一つは、基本的教育や識字率の向上は途上国の人々の命を救うということです。教育や識字率と言うと、経済的自立を促すことに貢献する活動と認識している方も多いと思います。それらはもちろん重要な要素ですが、それ以前の「生きる」という点にとっても重要な活動なのです。

一般的に、識字率と平均寿命には正の相関関係があると言われています。例えば分かりやすい例を挙げますと、最貧国の1つであるブルンジは一人当たりGDPは世界で最も低い約325ドルです。しかし、識字率と平均寿命は最貧困の中では高く、識字率は約76%で平均寿命は62歳です。これは2番目に貧しいシエラレオネより識字率が25%高く、平均寿命は約7歳長いです。別の例では、貧困国の1つであるマリは一人当たりGDPが約886ドルで、ブルンジの2.7倍です。しかし、識字率ではアフリカ諸国の中でも特に低く、約35%で平均寿命ではブルンジより低い60歳です。これらの例からも識字率と平均寿命に関係があるのが分かります。

では、途上国で基本的教育が欠如しているところのようなことが起こるのか、具体的な例を挙げます。貧困国・最貧困国と呼ばれる国々では、子どもたちの多くは家族にとっての大事な労働力です。そして、そうした国々では労働力を増やすということに加え、避妊の知識や家族計画についての教育が乏しいこともあり、合計特殊出生率が高いことが特徴です。兄弟姉妹の中でも、女の子は優先的に労働力として

家族を支えることを期待されます。貧しい家庭では兄弟姉妹全員の教育に割くお金がなく、子どもに教育を受けさせるとその間の労働力が減ってしまうため、教育を受けさせる子どもを最小限にしようと考えます。その結果、文化的背景により男子の方が優遇されることが多く、多くの国で女子の方が識字率が低い傾向にあります。教育を受けられなかった女の子たちは職を見つけることが難しく、経済的に自立できない結果、結婚をし、家を出ることを求められます。ユニセフの報告書ではカメルーンやチャド、およびガンビアでは15歳になる前に60%以上の女の子が結婚をしていると伝えています。また、こうした児童婚は早すぎる妊娠や出産に繋がり、まだ成長過程であるために妊娠による合併症を起こしやすく、15歳から19歳の女の子の最大の死因になっています。さらに、基本的教育を受けていないことはその女の子たちが生んだ子どもの死亡率にも影響します。読み書きができないと子どもの予防接種や病気の予防、衛生や栄養に関する情報を得ることができず、乳幼児の死亡率が上がります。この例から分かることは基本的教育の欠如は2世代にわたって命を奪うリスクになっているということです。

以上で挙げた例は多くの途上国で起こっている現実です。世界の識字率は年々向上していますが、コロナのようなパンデミックや天災、紛争など有事の際には最も弱い存在である女性や子どもが影響を受け、教育機会を失います。そして、基本的教育と識字率の向上には当事者や政府の努力だけでは足りず、先進国や国際機関、NGOやNPO、そしてロータリーのような財団の支援が不可欠です。基本的教育と識字率向上は命を救う活動なのです。



ロータリーの友月間 に寄せて

ロータリーの友地区代表委員

千田 弥生 (水沢RC)

今年度、『ロータリーの友』（以下『友』）地区代表委員と月信担当幹事を務めております。大変不慣れでございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

9月は、『友』月間です。『友』の手引書には、次のようなことが書かれています。「基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。横組みのページには、R Iの指定記事、ロータリーの特別月間の関連記事、特集、地区やクラブの活動などを掲載しています。縦組みのページには、ロータリアン個人としての意見や経験談、俳句や短歌の投稿、職業上の知識などを掲載しています。会員歴の浅い方や、ロータリアン以外の方がお読みになっても、ロータリーの理念や活動がわかるように編集しています。」

『友』のデジタル対応については2022年度に、創刊以来これまで発刊した全ての号のデータをデジタルアーカイブとし、会員の皆様にご利用できるようになりました。様々の場面にご利用ください。閲覧にはクラブ単位で発行しているID、パスワードの入力が必要となります。7月1日にクラブにお送りした請求書にID、パスワードが記載してあります。なおパスワードは半期ごとに更新され、古いパスワードは使えなくなりますので、ご注意ください。

『友』は会員数83,895人(2024年4月現在)のロータリアンが読む、最大の交流の場でありツールです。地区内のクラブの活動などの情報で成り立っています。『友』を身近に感じ、興味深く読

むには投稿が不可欠です。第2520地区の会員の皆様がたくさん投稿し、紙面を賑わせていただきたいと存じます。

7月1日に東京プリンスホテルで開催された、『友』委員会合同会議・地区代表委員会会議、2024-25年度ガバナー・『友』委員会・法人合同会議に出席してまいりました。『友』を毎月発行するまで、大勢のロータリアンが関わっていることを知り、熱意が伝わってきました。地区代表委員としての責務を思い知らされた会議でした。

地区代表委員の任務は、地区内の会員数と購買部数を一致させることです。また毎月発行の『友』について、意見や感想をレポートして編集部提出することです。さらに地区における地区代表委員としての活動状況などを、適宜報告して編集部提出することです。

毎月皆様に届くけど知っているようで知らない『友』を、愛読書として丁寧に読んで頂きたいと存じます。

会員の皆様のご協力、ご教示をよろしくお願い申し上げます。

ガバナー公式訪問報告

第6分區 セケ浜ロータリークラブ

■開催日:7月8日(月) ■会場:セケ浜国際村
■同行者:大町睦夫 ガバナー補佐 高橋秀隆 地区幹事



例会に先立ち開催された会長幹事会では、当クラブの現状と今後の課題についてご報告させていただきました。佐藤ガバナーよりロータリークラブへの思いをお話いただきました。

会長幹事会終了後、セケ浜国際村のホールを見学していただいた際には、スタインウェイで一曲ご披露され、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。

例会では東京ロータリークラブ設立当初の貴重な映像を拝見させていただきました、その歴史などを丁寧に解説いただきました。会員一同改めてロータリークラブの歴史について学ぶことができ、とても有意義な時間となりました。心より感謝申し上げます。

ご多用中、公式訪問をいただきありがとうございました。

(報告者: 鈴木洋市/セケ浜 RC 幹事)

第8分區 白石ロータリークラブ

■開催日:7月12日(金) ■会場:やまぶき亭
■同行者:小川隆秀 ガバナー補佐 小野寺弘行 代表幹事



会長・幹事会では、白石高校ときぼう学園への支援を継続してほしいとの励ましの言葉と、白石高校への支援を通じて白石のすばらしい財産である「梅花藻」をぜひ日本全国に広めてほしいとのお褒めの言葉を頂戴いたしました。

例会でのガバナースピーチでは、ロータリーの真面目な内容の話でも、いつもの佐藤ガバナーらしいジョークを交えた楽しいスピーチをしていただき、会場を盛り上げてくださいました。

当クラブには歯科医師が3名在籍しております。3-Year Targets にかけて3-Dentists が白石クラブを盛り上げて頑張してほしいとの挨拶を頂戴いたしました。(報告者: 後藤拓樹/白石 RC 幹事)

第7分區 仙台南-白石ロータリー衛星クラブ

■開催日:7月12日(金) ■会場:パシフィックホテル白石
■同行者:和田達雄 ガバナー補佐 小野寺弘行 代表幹事



例会に先立って行われた会長・幹事会では、当クラブの現状や活動計画について議長の森より説明させていただきました。創設4年目、会員のほとんどが新人ロータリアンという中でクラブの進め方など、ガバナーより力強い助言を頂くことができました。

例会では今までに聞いたことのない視点からのお話を頂き、目からウロコがポロポロと落ちるようでした。ガバナーとお会いするのが初めてという会員がほとんどでしたが、緊張もほぐしていただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。これからも地域のために何ができるか、メンバーで考えていきたいと思います。ご訪問頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

(報告者: 佐藤由佳/白石ロータリー衛星クラブ幹事)

第8分區 名取ロータリークラブ

■開催日:7月18日(木) ■会場:仙台空港カントリークラブ
■同行者:早坂正実 ガバナー補佐 菊池達哉 地区幹事



ガバナー・会長・幹事懇談会には、当クラブ独自に運営する奨学金制度(ピースフル奨学金)の奨学生1名(モンゴル出身)も同席、ロータリークラブの歴史、当クラブの国際交流等について意見交換を行いました。意見交換の後、ガバナーより地域に国際空港を持つグローバルなクラブとの感想をいただきました。

例会ではガバナーより講話を頂き、ロータリークラブの歴史や発展に貢献された先人の方々に説明を受けました。改めて歴史を知ることの重要性を再認識し、多様性を尊重し、今後のロータリー活動にどう活かしていくか考える良い機会となりました。

ガバナーの講話後、当クラブの女性新入会員の入会式を執り行いました。

(報告者: 和泉仁也/名取 RC 幹事)

ガバナー公式訪問報告

第1分區

盛岡ロータリークラブ

■開催日:7月19日(金) ■会場:ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
■同行者:田村清記 ガバナー補佐 小野寺弘行 代表幹事 高橋一隆 副代表幹事



会長幹事会では、荒川会長より、今年度のテーマに基づきコロナ過で簡略化されてきた内容等の「原点回帰」と笑顔で楽しい例会開催や国際ロータリーへの対応を図っている旨の説明をしました。佐藤ガバナーからは、ステファニー A. アーチック RI 会長のテーマである「The Magic of Rotary」について、RI 会長とのエピソードを交えて説明をしていただき、当クラブとしても今後の活動に取り入れていくことといたしました。例会では、ガバナーから、RI 会長のテーマをパワーポイントや様々な事例を交えてわかりやすく説明をしていただきました。クラブがダイバーシティ（多様性）の観点をさらに進めて、個々を尊重することで活動が活性化することや、固定観念や既成概念

第7分區

仙台奥羽ロータリークラブ

■開催日:7月23日(火) ■会場:(医)総志会モークシャタウン 多目的ホール
■同行者:和田達雄 ガバナー補佐 小野寺弘行 代表幹事



佐藤ガバナーにご訪問いただきましたこと、会員一同大変光栄に存じております。当日の例会は臨場感のある佐藤ガバナー劇場に変貌し、誠に感動の一語に尽きました。

当クラブの活動概略（URUSHI PROJECT、JOMON Project、大人大学など）をご説明させていただき、逐次多様な情報発信を心がけるようにとのご助言をいただきました。クラブの活動にあたっては既成概念にとらわれることなく、より効果的かつ効率的な事業遂行を行うようにと大局的なご指導をいただきました。また、多様性に関する「薩摩の教え」「金子みすゞの詩」をご提示の上、ロータリーの精神を明快に解説していただくなど、心に残る公式訪問でした。

(報告者：上原研一／仙台奥羽 RC 会長)

第6分區

古川・古川東ロータリークラブ

■開催日:7月30日(火) ■会場:アインパルラ浦島
■同行者:望月俊一 ガバナー補佐 知久真也 地区幹事



古川 RC



古川東 RC

7月30日古川東ロータリークラブ主幹のもと、古川ロータリークラブと合同でのガバナー公式訪問、例会を開催いたしました。

例会に先立ち、会長幹事会では望月ガバナー補佐の進行のもと、和やかな中で佐藤剛ガバナーと懇談ができ、貴重な時間を共有出来ました。

佐藤剛ガバナーの提唱されております固定観念、既成概念への挑戦への想いを強く感じさせていただきました。また、公式訪問ではなく表敬訪問の気持ちです、と温かいお言葉を頂きました。

合同例会では、佐藤剛ガバナーの人柄、人格、聞きほれてしまう講話を両クラブ 会員に感じていただき、とても有意義な例会、懇親会となりました。

佐藤剛ガバナーには、ご多忙の中訪問頂きありがとうございます。ありがとうございました。

(報告者：小関啓史／古川東 RC 幹事)

ガバナー公式訪問報告

第5分區 佐沼ロータリークラブ

■開催日:7月25日(木) ■会場:サンシャイン佐沼
■同行者:濁沼栄一 ガバナー補佐 及川貢基 地区幹事



会長幹事会では、今年度の佐沼ロータリークラブの活動を説明し、ステファニー・アーチックRI会長の(ロータリーの)マジックを今後の活動に生かすことを確認しました。

今年度は60周年を迎えることもあり、更なる会員の増強を進めていくこととしました。また、今年度よりデジグネートを選任し、クラブが継続性のある活動を進めていけるように組織の構築を行いました。

例会では、佐藤ガバナーより日本最初のロータリークラブの設立か

らの歩みなどをお話いただきました。クラブ在籍の長い会員も真剣に耳を傾け拝聴しておりました。ガバナーから「今年度は、メークアップをしていただきたい」との事で、会員も他クラブの様子を見ることで当クラブの今後の新たな運営に繋がることと思いました。

今回のガバナー公式訪問では講話をいただきましたが、是非今年度中にプロモーション映画や映像を見る機会を作り、会員にとって貴重な時間としたいです。(報告者:大畑好司/佐沼 RC 幹事)

第1分區 種市ロータリークラブ

■開催日:8月1日(木) ■会場:なかの食堂
■同行者:齋藤豊 ガバナー補佐 佐々木健一 地区幹事



例会前に会長・幹事会を開催し、当クラブの今年度活動計画と現状の諸問題を報告致しました。特に会員の増強に関しては適切なアドバイスを頂きました。

次に例会の後に卓話を頂戴し、会員全員が楽しく笑顔で聞き入っていました。これからのクラブは多様性と公平性の中で運営すべきと説いていました。特にクラブの魅力も大事であるが、もっともっと個人(会員)の魅力在前面に出して行動すべきとお話を頂き、大変感銘を受けた所存です。その後の夜間の会食では、ガバナーを中心に輪がで、笑顔の絶えない時間となりました。

大変お忙しいところご訪問いただき感謝しております。ありがとうございました。(報告者:岩本明佳/種市 RC 幹事)

第1分區 盛岡西北ロータリークラブ

■開催日:8月7日(水) ■会場:ホテルメトロポリタン盛岡本館
■同行者:田村清記 ガバナー補佐 小野寺弘行 代表幹事



17時30分より会長幹事懇談会を開催。村田会長からタイの子供たちへの支援活動、みどり学園との交流などを報告し、その後佐藤ガバナーより DEI、Belonging、Irresistible への取組みや会員増強の考え方、既成概念、固定観念から脱却し自由なクラブ運営への取組みなどのお話をいただきました。

18時30分からは会員19名の出席(在籍43名)で公式訪問例会を行い、ガバナーよりロータリーの歴史など多岐にわたるエピソードを交えてのお話をいただきました。その後、懇親会終了まで瞬く間に終了の時間となりました。

まさに「マジック」のようなガバナー公式訪問でありました。会員一同感謝申し上げます。(報告者:佐藤 保/盛岡西北 RC 幹事)

第1分區 盛岡西・盛岡滝ノ沢ロータリークラブ

■開催日:8月8日(木) ■会場:アートホテル盛岡
■同行者:田村清記 ガバナー補佐 穴戸宏行 地区幹事



例会に先立ち、盛岡西 RC の芳賀会長並びに盛岡滝ノ沢 RC の山口会長から、クラブの奉仕活動の報告や両クラブの現状、特に会員の減少や高齢化に関するクラブが抱える問題等を佐藤ガバナーにお伝えしました。

ガバナーからは、会員増強に関するヒントを沢山頂戴致しました。その一例として、今までの基準(旧い入会基準等)は忘れ、ロータリアンとはこういうものだとの概念に捕らわれず、新たに周りに存在する、入会して頂けるような人材にお声がけをするのも会員増強に繋がるのではないかとアドバイスを頂きました。

ガバナー講話は、映像を使つての講話で多分初めての試みであったのではないのでしょうか。ガバナーの解説と映像が相まって大変わかりやすくロータリークラブの歴史を学ぶことができました。出席会員一同興味深く拝見し、大変良かったとの声を頂きました。(報告者:芳賀 聡/盛岡西 RC 会長)



ローターアクト前期会長幹事会 開催報告

地区ローターアクト代表 大宮 遼太 (仙台泉 RAC)

第2520地区ローターアクト代表を務めさせて頂いております、仙台泉ローターアクトクラブの大宮遼太と申します。この度は、7月13日に開催致しました「2024-2025 ローターアクト前期会長幹事会」にご参加を頂きまして、誠にありがとうございました。当日は普段より例会場として使用しております「学校法人 宮城明泉学園 明泉丸山幼稚園」にて、佐藤ガバナー、加藤ガバナーエレクトをはじめロータリアン12名、ローターアクト会員16名の参加となりました。各ローターアクトクラブからの年間活動予定の報告や、9月に開催致します「アクトの日 清掃活動」の告知、また今年度は「ローターアクト第一エリア会議」を仙台で行う事となっており、情報の共有の場とさせて頂きました。当日は不慣れなご案内、進行でありましたが、皆様方のご協力を頂き無事に会長幹事会を終えることが出来ました。改めて御礼を申し上げます。

仙台泉ローターアクトクラブは2022年6月26日にご承認を頂き、今年で活動3年目を迎える事となりました。活動開始時は会員17名でのスタートでありましたが、毎年会員を増やし、現在22名の入会を頂いております。

まだまだ学ぶことは多くございますが、地区代表として今年1年間を大いに盛り上げていけるように尽力して参ります。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



前期会長幹事会



米山学友会総会 開催報告

ロータリー米山記念奨学会

第2520地区学友会 会長 簡 梅芳

2024年7月21日、第2520地区米山学友会の総会が仙台市江陽グランドホテルにて開催され、米山学友16人、現役奨学生14名、準学友（現役奨学生）11名を含む42名が集いました。

第1部では、会長の簡の開会の辞、小野寺米山副委員長の挨拶、佐藤ガバナーと桑原理事の祝辞に続いて、昨年度の学友会の活動・会計決算・監査報告、新年度の活動計画・予算案を報告し、それぞれ承認されました。その後、新年度役員の改選が行われ、立候補した文慶喆さんが新会長に、長年会長を務めていた台湾出身の里見さんは名誉会長、その他の役員は国籍のバランスを考慮し、副会長にフランス籍のロジェールさん、会計に台湾の簡、理事に韓国の金さん、監事にロータリアンでもある台湾出身の江川さんが決まりました。

新会長の文さんは、これまでの活動に加え、今後は地域ボランティアへの参加、奨学生やロータリアンとのネットワーク作り、国際交流派遣の受け入れや奨学生の相談役になることを検討、さらに他地区の学友会との交流強化など、さまざまな活動方針を発表し、第2520地区学友会の活動強化を掲げました。

そして、白鳥委員長から講評を、山口評議員から励ましの言葉をいただき第1部を終了しました。

第2部の懇談会では、食事をとりながら近況交換をし、親睦を深めた後、集合写真を撮り、学友たちは日々の感謝と次回活動での再会を伝え、総会は温かい雰囲気の中で閉会しました。



2024年度米山学友会総会



インターアクト年次大会 2024 開催報告

インターアクト委員会 委員長 佐藤 知樹 (仙台 RC)

去る7月30日、一関文化センターにおいて、毎年恒例のインターアクト年次大会2024を開催しました。当日は15校16 I A Cより111名のインターアクター及び顧問の先生方、そして60名を超えるロータリアンにご登録いただき、セレモニーの後に日頃の活動成果をプレゼン、そして今後の活動や能登への支援など、多岐にわたるテーマでディスカッションしました。

大会テーマ「未来へ繋がる今～私たちにできること～」の通り、すべてのインターアクトクラブがまずは身近なところから「できること」を探り、学校の垣根を越えて世界へ届く奉仕活動を議論し実践へ繋げます。今後も各 I A C・インターアクターの学生たちの活躍にご期待ください。

なお第2520地区では「新たな I A C 設立」を推進しています。各 R C における青少年奉仕活動の重要な柱として I A C 設立をお考えの方は、インターアクト委員会までご連絡ください。また当年次大会や日頃の I A C の活動内容については、第2520地区インターアクト web サイトおよび「第2520地区スマホアプリ」において随時ご紹介しています。ぜひともご覧いただき、R C とともに「超我の奉仕」を実践する若き仲間の活動をご体感ください！ 来年度は2025年7月19日(土) 仙台育英学園高等学校において、IA60周年記念大会として開催いたします！ 併せてお楽しみに！



IA 年次大会 2024



第7回全国ローターアクト委員長 及びローターアクト地区代表合同会議出席報告

ローターアクト・R Y L A 委員会 委員長 小野 智哉 (北上 RC)

去る8月4日(日)、東京で開催されました「第7回全国ローターアクト委員長及びローターアクト地区代表合同会議」へ加藤ガバナーエレクト、早坂青少年奉仕委員長、大宮ローターアクト地区代表と私の4名で参加してまいりました。

今回は、2019年規定審議会にて決議された「エレベート・ローターアクト(ローターアクトの地位向上)」について、「全国ローターアクト研修会」の代表者会議にてローターアクト側より合同会合の要望を受けて合同会議の議題となりました。

グループディスカッション形式で討議が行われ、グループごとに各地区の「エレベート・ローターアクト」に向けての現状報告を受けて共有し、今後のガイドライン策定について活発な意見が交換されました。参加者からは「エレベート・ローターアクト」に地域ごとに温度差がある事、早めに全国としての方向性を出すことにより具体的な動きに繋がるのでは、決まった事項は「ローターアクト・ハンドブック」などに掲載し全員で共有する、などの意見が出ました。

当地区でも会長幹事会などの機会を利用し、両者での「エレベート・ローターアクト」について意見交換を続けて行きたいと思えます。

青少年交換長期派遣生報告

2023-2024年度青少年交換(長期)派遣生

常盤木学園高等学校 3年
スポンサークラブ 仙台南ロータリークラブ

皆さん、こんにちは。2023-24年度ロータリー青少年交換プログラムを通してアメリカ合衆国ミネソタ州5950地区に派遣させていただきました、常盤木学園高等学校3年の丹野蒼衣です。



はじめに、今回の交換を通して沢山のサポートをしていただいた日本・アメリカのロータリーの方々や支えてくれた家族、ホストファミリーに深く感謝します。今年の6月14日に帰国し、現在は大学受験に向けて準備に励んでいます。

交換生活は一言で表せられないほど密度の濃いものでした。友達はできるのだろうか、本当に10ヶ月アメリカで過ごせるのだろうか大きな不安を抱えつつ始まった交換生活。実際にアメリカでの生活に慣れてきても語学や友達作りに悩むことが数え切れないほどありました。日本という「安全地帯」を出て何も知らない土地に住むことは簡単ではありませんでしたが、その経験は今の私を強くしてくれています。辛いことがたくさんあった分、楽しいこと、充実していたこともたくさんありました。ホストファミリーはもちろん、旅行に行ったり、放課後に遊んだり、部活動で共に競い合ったりと交換先



丹野 蒼衣

で出会った友達とはかけがえない思い出を作ることができました。

また交換プログラムを通して、ドイツやウガンダ、インドネシアなど世界中に友達を作ることができました。留学生同士で話をしていく中でお互いの文化や言語について教え合うことができ、ちょっとした会話の中での新たな発見が自分自身の視野を大きく広げてくれました。留学生活で1番印象に残っていることはブロムというダンスパーティーです。普段とは違った華やかなドレスを着てメイクをし、友達と写真を撮ったりダンスをしたり、交換生活の中で「アメリカ」を1番感じることにできた瞬間でした。

日本にないものを体験し、新たな価値観を身につける。これが交換・留学の醍醐味だと私は感じます。大学生活でもまた海外へ行って、たくさんの価値観に触れていきたいです。この経験を糧にさらに成長していきます!! 皆さん、本当にありがとうございました。



青少年交換長期派遣生報告

2023-2024年度青少年交換(長期)派遣生

国際教養大学 1年
スポンサークラブ 一関ロータリークラブ

私は、2023年8月から2024年6月まで、ロータリー青少年交換プログラムを通してD.6110アメリカ、アーカンソー州ハリソンに滞在しました。私がプログラムへの参加を決めたきっかけとして、留学が長年の夢であったこと、新型コロナウイルスの影響でそれが叶わなかったことがあります。留学についてほぼ諦めかけていた高校2年生の夏、このプログラムを知り、こうして実際に留学できたことは、ほとんど奇跡に近かったように思います。

アーカンソー州ハリソンについての事前情報は、Google検索をして得た「アメリカで最も人種差別的な町」というものでした。しかし、その情報はハリソンの周辺にKKKの幹部が住んでいるという理由から流れた噂に過ぎず、実際の生活のなかで意図された人種差別を感じることはほぼありませんでした。町の人口の9割以上を白人が占めているハリソンでは、アジアに関しての知識が少なく、中には真面目な顔で「君たちは犬を食べるのか」と聞いてきた高校生もいました。このような無意識の発言は、自分の言動を顧みるきっかけとなりました。「犬を食べるか」は、私たちが海外からの人に聞いている質問の中のひとつかもしれない。まずは自分の中の偏見というフィルターを外し、〇〇人としてではなく、人間同士として対話することが、異文化理解の第一歩な



小野寺 在

のだと気が付きました。

アメリカでの高校生活は、日本のものとは180度異なるものでした。ホームルームがなく、生徒が毎時間クラスを移動し、そのため廊下は人でごった返し、それなのに休み時間は4分しかない。生活の忙しさと英語での授業に疲れ、滞在中は日本でもあまり引かないような風邪を何度も引きました(これはノーマスクの影響も少なくないと思います)。しかし、フットボールの試合やその前の激励会、プロムなど学校主催のダンスパーティ、そして何より毎日の生活自体が、日本ではできない、特別な経験になりました。

アメリカで私が経験したことは、今の自分の精神的な成長だけでなく、今後の人生全体に関わっていくような価値観の変化、また新たな分野への興味関心の芽生えなど、たくさんのことに繋がっています。このかけがえない経験を私に与えてくださった日本、そしてアメリカのロータリーの皆さんに心からの感謝を申し上げて、派遣報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。



奨学生レポート

ロータリー財団
グローバル補助金奨学金奨学生

遠藤 俊

岩手県一関市出身。
研究先：米国立衛生研究所（National Institutes of Health/ NIH）
研究テーマ：乳がん脳転移における新規治療の開拓
ホスト地区：第 7620 地区（米国メリーランド州）
ホスト RC：Metro Bethesda

渡米前のご挨拶と、仙台青葉まつりの歴史について学ばせていただいた仙台 RC 定例会からあっという間に 2 か月が経過しました。

渡米初日に Safeway という近所にある一般的なスーパーで購入したオレンジジュースが円換算で 1800 円であり、円安の影響を色濃く感じる状況で不安を覚えましたが、ロータリーからの多大なるサポートにより生活にも少しずつ慣れてきております。

私の赴任先である National Institutes of Health (NIH) は 1887 年に設立されたアメリカで最古の医学研究拠点であり、世界中から研究者が集まっており、国際色がとても豊かな環境で研究に励むことができています。私は東北大学産婦人科講座に所属し、10 年間宮城県を中心に臨床業務に取り組んでまいりました。博士課程では子宮内膜オルガノイドと呼ばれる幹細胞由来の構造を応用した新規ヒト子宮着床モデルの開発を通じてヒト着床の新規メカニズムを発見することができました。NIH では女性の癌の中で罹患率が第一位である乳がんの細胞株を用いた血栓と脳転移のメカニズムの解明に取り組んでいます。こちらでの研究生活は始まったばかりですが、研究者に対するサポートが手厚く、研究者はよりコアな仕事

に集中できる環境であることを実感しております。周りにはトップジャーナルへの掲載歴のある猛者がゴロゴロいますが皆フレンドリーで、毎日メーリングリストには物品の貸し借りの連絡が飛び交い助け合っています。他研究室とのコラボレーションも垣根が低く、とても刺激的です。昼食時にはインド、バングラデシュ、アルゼンチン、レバノン、アメリカ、中国、韓国、日本と国籍の異なる人間が集まり各々の国の文化や政治について語り合ったりしています。

日本にいる時には思いもよらなかった価値観や現実に触れ、留学できてよかったなと噛みしめております。まだ観光はほとんどできていませんが、ワシントン DC はクラシカルな建築と自然が見事に調和しており素敵な都市ですので今後満喫出来たらと思っています。



NIH キャンパス内で病院機能も有する Building10

第 2520 地区 ロータリーデー 清掃活動のお願い

社会奉仕委員会では、今年度も皆様のお力をお借りし、ロータリーデー清掃活動を行います。クラブ単位で清掃活動の予定を立て、実施して頂きますようお願いいたします。

日時 2024 年 10 月 6 日 (日)

※都合が合わない場合は、前後しても構いません

内容 地域の清掃活動（場所はお任せします）。他団体、会員家族、ローターアクト、インターアクトなど会員以外の方を是非お誘いください。

ポリオプラス・ソサエティ (PPS) 参加のお願い

ポリオプラス・ソサエティ (PPS) に参加する、とは

- ◇ 毎年 100 ドルあるいは 100 ドル以上を「ロータリー財団」ポリオプラス基金へ寄付することを約束します。
- ◇ WHO (世界保健機関) がポリオの根絶を宣言するまで、毎年上記の額を寄付することで、ロータリーが歴史を作ることに協力します。

※ガバナー事務所へお申し込みください。



奨学生レポート

ロータリー財団
グローバル補助金奨学金奨学生

石川 智彦

東北大学大学院修了。カリフォルニア大学サンディエゴ校薬学部ムアーズがん研究所。

ホスト地区：第 5340 地区（米国カリフォルニア州）

ホスト RC：La Jolla Sunrise RC

自身の研究については変わらず進めています。3年滞在予定のちょうど半分が経過したので、滞在期間内にどこまで研究を進められそうか、少しずつですがゴールも意識し始めています。

娘は6月頭で今季の preschool が終わり、現在はサマーキャンプに参加しています。こちらの学校はおおまかに8-9月始まりで、6月頭に終わって以降は夏休みになります。夏休みの過ごし方は自由ですが、学校や水族館・動物園などが開催している1ヶ月単位のサマーキャンプが充実しており、有料のことが多いですが普段できないような体験へ集中的に取り組むことができるのは面白い制度だと感じています。娘は preschool 主宰のキャンプに参加していますが、プールなどそれなりに楽しく過ごしているようです。妻が通っている English secondary languages school も夏休みに突入したため、近くの山へ1泊2日でキャンプへ行くなど、少し夏休みらしいことも

もすることができました。

ロータリーとの関わりとしては、6/13に La Jolla Sunrise Rotary の morning meeting で20分程度の経過報告を行いました。私自身の研究内容や家族の様子について報告を行い、色々ご質問もいただけて良い時間を過ごしました。

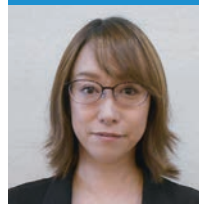


2024-04-25. 真ん中のサングラスのPIシルビオの両脇にいる Valeria (女性) と Shiru (男性) が4月でラボを去りました。中庭での彼らの farewell party にて。

2024-2025年度行事予定表(9・10月) 9月は「基本的教育と識字率向上月間」です

	日 程	行 事		場 所
9月	1日(日)	Pre-GELS	神奈川	パシフィコ横浜 会議センター他
	2日(月)～3日(火)	第1回ガバナーエレクトレーニングセミナー (GELS)	神奈川	パシフィコ横浜 会議センター他
	4日(水)	25-26 地区ラーニングファシリテーターのためのセミナー	神奈川	パシフィコ横浜 会議センター
	7日(土)	全国統一アクトの日「泉ヶ岳 水神様清掃」	宮城	泉ヶ岳
	8日(日)	第3回 RYLA 運営委員会及び地区委員長会議	東京	AP 八重洲 & ZOOM
	15日(日)	第1回ロータリーカード地区推進委員セミナー		ZOOM
	23日(月・祝)	米山記念奨学会研修会	宮城	江陽グランドホテル
10月	6日(日)	第2520地区ロータリーデー		
	12日(土)	青少年交換派遣生選考試験	宮城	常盤木学園高校
	12日(土)	米山記念奨学会 研修旅行	岩手	平泉方面
	24日(木)	世界ポリオデー		
	24日(木)	韓日親善会議	韓国	k - ホテル良才 (ソウル)
	26日(土)	花巻 RC 創立 70 周年記念式典	岩手	グランシェール花巻

新入会員紹介

久慈 RC  なかむら たかし 中村 崇 2024.7.4 入会 電気工事	盛岡 RC  きのした だいすけ 木下 大介 2024.7.5 入会 自動車保険	盛岡 RC  むら い としあき 村井 利昭 2024.7.5 入会 医薬品配布	盛岡 RC  おお もり たけし 大森 健史 2024.7.5 入会 鉄道運輸	盛岡 RC  てら だ まさひろ 寺田 匡宏 2024.7.12 入会 リゾートホテル	盛岡 RC  やなぎ ひろあき 柳 宏樹 2024.7.12 入会 中央銀行
盛岡 RC  よしむら ともや 吉村 智也 2024.7.19 入会 証券業	盛岡北 RC  しま だいすけ 嶋田 洋一 2024.7.10 入会 ビール醸造	盛岡北 RC  なが の かつし 長野 克司 2024.7.24 入会 オートガス小売	盛岡南 RC  た ばた めぐみ 田畑 恵 2024.7.18 入会 飲食店経営	盛岡南 RC  ひ かげ なおと 日影 直人 2024.7.18 入会 包装業	盛岡西北 RC  いわ だて りょう 岩 銘 諒 2024.7.3 入会 不動産業
盛岡西北 RC  お ぼし かずひろ 小原 能和 2024.7.3 入会 コンサル専門学校講師	盛岡西北 RC  さい けんじ 佐藤 康之 2024.7.3 入会 造園業	盛岡西北 RC  すず き ひろし 鈴木 寛隆 2024.7.3 入会 宅地建物取引業	花巻 RC  ひら の まさひこ 平野 雅彦 2024.7.1 入会 洗濯サービス	北上 RC  さい けんじ 斎藤 和弘 2024.7.2 入会 電気総合・設備工事	水沢 RC  ちくま まさひろ 知久 真也 2024.7.11 入会 電気通信
水沢 RC  い じん 李 鎮鉉 2024.7.11 入会 飲食業	大船渡西 RC  さい たくひろ 佐藤 裕貴 2024.8.1 入会 包装資材卸売	大船渡西 RC  くま がい ひろし 熊谷 廣 2024.8.1 入会 運送業	石巻東 RC  つの だ けい 角田 圭 2024.7.5 入会 管工機材販売	石巻東 RC  たか はし こうき 高橋 晃樹 2024.7.12 入会 建築	岩出山 RC  ふん や ともかず 文屋 智和 2024.7.11 入会 自動車整備・販売業
加美 RC  すず き けんじ 鈴木 雄 2024.7.3 入会 土木事業	加美 RC  ま さい こうじ 遊佐 浩二 2024.7.24 入会 信用組合	多賀城 RC  くら さわ せい 黒沢 成 2024.7.4 入会 行政書士	仙台 RC  か とう たくみ 加藤 琢巳 2024.7.2 入会 設備工事	仙台 RC  たま むら じゅんいち 玉村 淳一 2024.7.9 入会 事務オートメーション機器販売	仙台 RC  あか し まさひろ 明 右 征 大 2024.7.30 入会 生命保険

新入会員紹介

 中 河 裕 2024.7.30 入会 証券業	 小 椋 並 樹 2024.7.30 入会 全国放送	 わた 渡 辺 隆 夫 2024.7.30 入会 電気事業	 小 や 山 加 奈 2024.6.20 入会 不動産賃貸管理	 おく 村 滋 子 2024.7.1 入会 印刷・出版	 すず 木 利 彦 2024.7.1 入会 不動産業
 たか 橋 ひろし 広 2024.7.1 入会 理学療法士	 むな 宗 像 一 子 2024.7.1 入会 看護師・保健師	 しま 島 貴 勇 雄 2024.7.17 入会 建築	 たか 橋 幸 真 2024.7.17 入会 建設業	 みや 崎 行 生 2024.7.17 入会 土木工事業	 ま 真 壁 政 好 2024.7.10 入会 団体職員

大河原 RC



やん 山 家 正 義
 2024.7.11 入会
 造園業

退会会員報告

クラブ	氏 名	職業分類	退会日	クラブ	氏 名	職業分類	退会日
盛岡	田 中 堯 史	土地家屋調査士	2024/6/6	一関中央	旭 厚 志	精密機械加工	2024/6/30
盛岡	吉 江 信 博	リゾートホテル	2024/6/30	宮古	阪 東 将 男	建設業	2024/7/5
盛岡	田 中 健太郎	全国放送	2024/7/12	加美	加 藤 洋 之	信用組合	2024/7/24
水沢	佐々木 幸 也	電気通信	2024/7/11	角田	毛 利 儀 平	薬局	2024/6/30
平泉	小 室 章		2024/6/10	角田	星 隆 志	土地家屋調査士	2024/6/30

計 報

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

平泉 RC



砂 金 智 美
 2024年7月24日逝去
 (享年71歳)
 1978年11月5日入会

七ヶ浜 RC



渡 邊 善 夫
 2024年7月18日逝去
 (享年77歳)
 1993年3月20日入会

寄付報告 (7月)

■ロータリー財団

2024年6月認証 ※8月号掲載漏れ分

認 証	所属クラブ	氏 名
マルチプル・ ポールハリス・フェロー	北上西 RC	草 野 文 夫
	仙台泉 RC	鷲 見 泰 宏

2024年7月認証

認 証	所属クラブ	氏 名
メジャードナー (L3)	仙台 RC	加 藤 雄 彦
マルチプル・ ポールハリス・フェロー	盛岡 RC	荒 川 鉄 平
	盛岡東 RC	柴 田 茂
	花巻 RC	稲 田 典 之
	前沢 RC	三 浦 滋
ベネファクター	仙台 RC	加 藤 雄 彦

■ロータリー米山記念奨学会

2024年7月認証

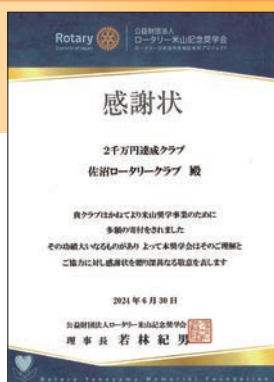
表彰名	所属クラブ	氏 名
米山功労者マルチプル	盛岡 RC	荒 川 鉄 平
	一関中央 RC	小野寺 勘 治

米山功労クラブ	盛岡 RC
---------	-------

ロータリー米山記念奨学会 2023-2024年度 達成クラブ表彰

佐沼ロータリークラブが2千万円の
寄付を達成し、ロータリー米山記念
奨学会より感謝状を贈られました。

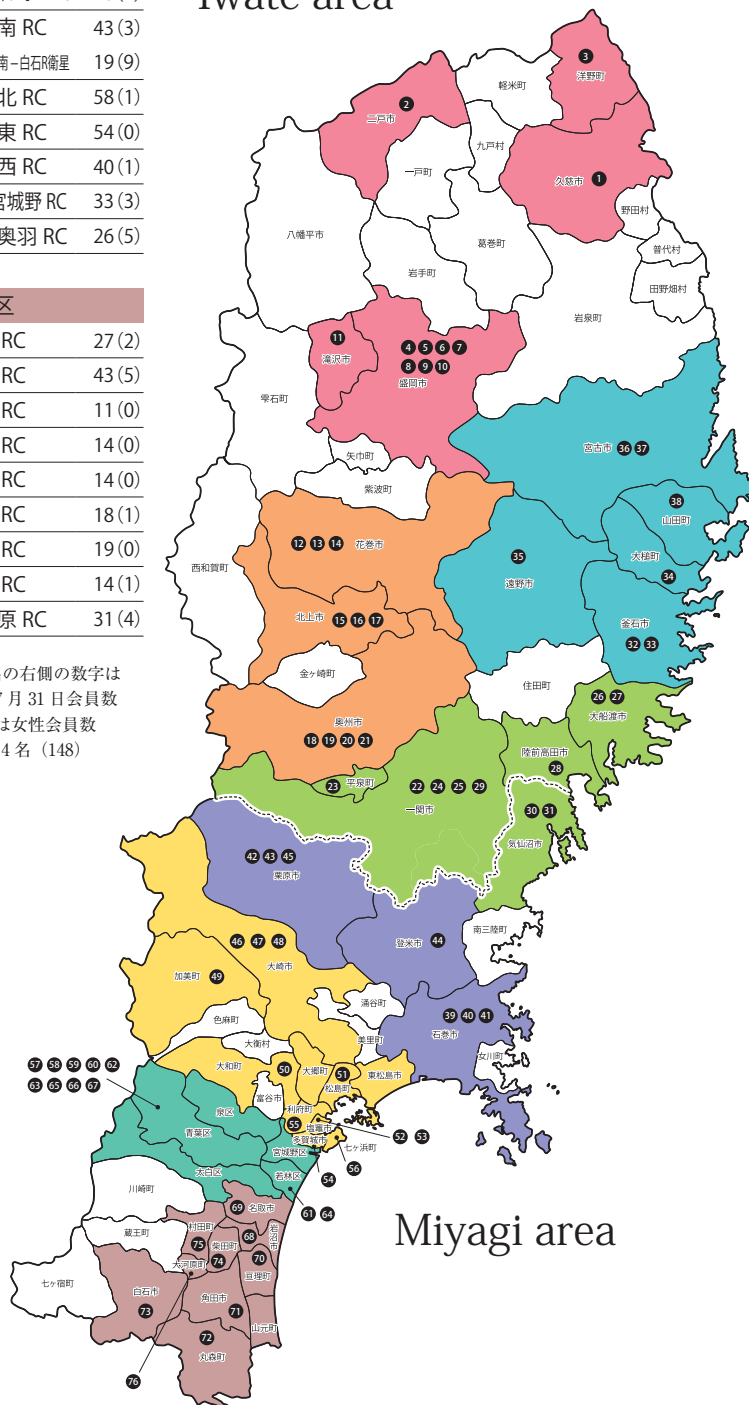
※ロータリー米山記念奨学会に対する寄付
が100万円に達する毎に「米山功労クラ
ブ」として、1000万円に達する毎に「達
成クラブ」として感謝状が贈られます。



訂 正 月信7月号17ページ ロータリークラブ一覧において、七ヶ浜
RCの幹事名を訂正いたします。 〈訂正後〉鈴木 洋一

Rotary
District 2520

Iwate area



Miyagi area

第一分区	会員数	第四分区	会員数	第七分区	会員数
1 久慈 RC	24 (1)	32 釜石 RC	16 (1)	57 仙台 RC	123 (6)
2 二戸 RC	43 (4)	33 釜石東 RC	27 (2)	58 仙台泉 RC	50 (1)
3 種市 RC	17 (0)	34 大槌 RC	6 (0)	59 仙台青葉 RC	36 (0)
4 盛岡 RC	71 (2)	35 遠野 RC	9 (2)	60 仙台冠 RC	11 (2)
5 盛岡北 RC	34 (3)	36 宮古 RC	30 (4)	61 仙台レインボー RC	10 (2)
6 盛岡西 RC	17 (2)	37 宮古東 RC	24 (1)	62 仙台南 RC	43 (3)
7 盛岡南 RC	43 (1)	38 山田 RC	20 (1)	63 仙台北 RC	58 (1)
8 盛岡東 RC	25 (3)			64 仙台東 RC	54 (0)
9 盛岡中央 RC	23 (4)			65 仙台西 RC	40 (1)
10 盛岡西北 RC	43 (5)			66 仙台宮城野 RC	33 (3)
11 盛岡滝ノ沢 RC	4 (3)			67 仙台奥羽 RC	26 (5)

第二分区	第三分区	第五分区	第六分区	第八分区
12 花巻 RC	22 花泉 RC	39 石巻東 RC	46 古川 RC	68 岩沼 RC
13 花巻南 RC	23 平泉 RC	40 石巻西 RC	47 古川東 RC	69 名取 RC
14 花巻北 RC	24 一関 RC	41 石巻南 RC	48 岩出山 RC	70 亶理 RC
15 北上 RC	25 一関中央 RC	42 栗駒 RC	49 加美 RC	71 角田 RC
16 北上西 RC	26 大船渡 RC	43 築館 RC	50 大和 RC	72 丸森 RC
17 北上和賀 RC	27 大船渡西 RC	44 佐沼 RC	51 松島 RC	73 白石 RC
18 岩谷堂 RC	28 陸前高田 RC	45 若柳 RC	52 塩釜 RC	74 柴田 RC
19 前沢 RC	29 千厩 RC		53 塩釜東 RC	75 村田 RC
20 水沢 RC	30 気仙沼 RC		54 多賀城 RC	76 大河原 RC
21 奥州水沢東 RC	31 気仙沼南 RC		55 利府 RC	
			56 ケー浜 RC	

※クラブ名の右側の数字は
2024年7月31日会員数
() 内は女性会員数
合計 2,014 名 (148)

今年度は、地区内のクラブが紹介する“地域のステキな場所・モノ”の写真をクラブに提供していただきます。そして写真を提供してくれたクラブの紹介をいたします。

伊豆沼のハス（宮城県栗原市、登米市）

栗原市と登米市にまたがる伊豆沼、内沼は、夏は蓮が咲き誇り、観光船が運行し多くの人をたのしませて、冬は白鳥や雁などの冬鳥の飛来地として朝の飛び立ちと夕のねぐら入りなど愛鳥家に親しまれています。1985年ラムサール条約に登録。毎年3月には栗原登米両市民によって清掃活動が行われ、築館ロータリークラブも社会奉仕として毎年参加しております。

クラブ紹介 築館（つぎで）ロータリークラブ

宮城県の北部、築館市に位置する築館 RC は1965年（昭和40年）2月23日に認証を受け、今年度創立60周年を迎えます。財団寄付、米山奨学生支援等に力を入れ、表彰の栄に浴しています。三浦幹典会長の方針である「温故知新・原点回帰」のもと、先人の思いに立ち返り、ロータリーの精神・奉仕の精神を改めて考え、思い、活動していきたいと考えています。その目標達成のため新たな仲間を増やし、友好クラブや姉妹クラブとの絆を深めながら新しい出会いを奉仕の機会とし、目標に向かい自問自答しながら、日々、奉仕の理念を実践してまいります。

編集後記

記録的な暑さが続いていますが、皆様の体調はいかがでしょう。どうぞご自愛ください。

今月の月信にはガバナー公式訪問報告が数多く掲載されています。各クラブの特徴がみられ、興味深い内容となっています。佐藤剛ガバナーとの交流や新しい出会い再会など、ロータリアンとして実りある機会であったことと存じます。

9月号の表紙は築館 RC 提供です。伊豆沼の目にも鮮やかな緑の蓮の海を行く遊覧船。蓮の花言葉は「清らかな心」です。（月信担当幹事 千田弥生）